

# 恵星幼稚園 自己評価一覧(2015年度)

2016.02.09.実施

A:よくできている B:できている C:あまりできていない D:できていない

## I 教育内容

内 容		評価	所見
保育の計画・実施	園の教育理念や教育方針が明文化され、保護者や対外的に公開されている。	A	制度移行に伴い「園のしおり」を「要覧」に改め、必要箇所の見直しをしました。  クラスごと、学年ごとのその年々の保育計画はありますが、園共通のものを作っていく必要があります。来年度は「保育の友」と「キリスト教保育」のカリキュラムを基準に保育を進め数年かけて恵星幼稚園の5領域とキリスト教に関するカリキュラムを作成します。
	園の教育課程が自園の教育理念に基づき、教育要領の精神を踏まえて構成されている。	B	
	園児の生活が豊かになるような行事を、園児の実態に合わせて精選している。	A	
	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づいて指導計画の見直しを行っている。	C	
	個々の行事について、園児の発達を考えながら実施し、園児の実態や狙い等について教職員と十分に話し合いを行っている。	A	
教職員体制の充実	園の教育理念や教育方針を教職員がきちんと理解している。	B	概ね出来ていると感じている職員が多い中、会議中延長保育を担当する非常勤職員には紙面での報告で不十分な点があったので、今後は必要な部分を交代でも参加できるようにします。
	園の教育理念や教育方針を教職員が共通理解をするための取り組みを行っている。	B	
	個々の園児について教職員で話し合う場を、定期的かつ必要に応じて持つことができている。	B	
	教師間で互いの保育について話し合い、評価・反省をして次の保育に生かすことができるような体制があり、実施できている。	B	
教育内容の充実	園児が安全で心地よく過ごすことができる環境を心がけている。	B	全職員が園児と保護者の名前を4月当初から覚え声を掛け合うようにしました。  教師自身が飼っている金魚や栽培している植物・使う言葉に無頓着にならないよう引き続き配慮していく必要を感じています。保育室の環境・園庭の遊具のしまい方等も具体的な方法を共有します。
	園児がそれぞれの興味や関心・能力に応じて、全身を使って活動できるようにしている。	B	
	園児を温かく受け入れる環境をつくり、人とかかわる力が育つような配慮をしている。	A	
	園児が様々な活動や体験をするよう努めている。	A	
	園児が生命を尊重する心、身近な自然、社会と関わることができるように配慮している。	B	
	園児が言葉で伝えたいような体験をもつことができる環境を整え、伝え合う喜びを味わったり、言葉に対する感性が養われたりするように配慮している。	B	
	園児が生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れられるような環境の工夫をしている。	B	
	園児が様々な表現を楽しみ、自己表現する意欲を十分発揮させることができるよう努めている。	B	
研修や研究	園内研修などを企画し、研修の内容が自園の教育理念に沿った形で日々の保育に生かせるようにしている。	C	年間で一つの大きな課題(目標)を立て、研究した成果や報告を発表するような取り組みを継続的にしていきたいと話しました。  外部での研修内容はその都度報告し出席していない職員にも共有できるよう努めました。
	教育内容の質の向上や改善のための取り組みを教職員とともに行っている。	B	
	教職員の資質向上のために公的機関などが開催する研修会に参加する努力をしている。	A	
	個々の教職員が自分の課題を把握し、その課題を達成できるように努めている。	B	
	自園のテーマや重点項目等を決め、継続的に話し合いを行っている。	C	

## Ⅱ 地域の教示教育センターとしての役割

内 容		評価	所見
支援	未就園児が親子で登園する日を設けたり、子育て相談を受けたりするなど、地域の子育て支援のための取り組みを行っている。	A	今年度は担当者が食と健康を繋げて、折々で乳幼児に大切なポイントを話したり、活動に取り入れて来ました。今後は子育て支援の現状を園全体で共有できるような報告・話し合いを重ねます。
教育相談	在園児の保護者からの教育に関する相談を受けている。	B	
	児童相談所や病院等の専門機関に相談や連携ができる体制が整っている。	A	
預り保育	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	B	
	預かり保育を担当する教師の体制を整えている。	A	

## Ⅲ. 安全管理

内 容		評価	所見
施設・設備・園児に対する安全対策	幼稚園設置基準第7条(一般基準)をふまえ、幼稚園の施設・設備を安全で適切な状態にしている。	B	今年度から月1回の定期点検を実施し、破損箇所などに迅速に対応することが出来ました。
	幼稚園施設整備指針第8条(防犯計画)に基づき、ハード・ソフト両面から適切な防犯体制を整えている。	B	
	地震などの自然災害に対する防災対策を行っている。	B	
	施設・設備・遊具等の状況を時々写真等で記録している。(震災等の際の現状確認のため)	B	
	施設・設備・遊具の安全管理のため定期的に点検を行っている。	A	
	消防法第4条に基づき、消防職員の立ち入り検査を受けている。	A	
	消防法第8条に基づき、防火管理者を定めて防火管理を行っている。	A	
	消防法第17条に基づき、消防用設備等を設置し、維持管理を行っている。	A	
	幼稚園施設整備指針をふまえ、安全管理・衛生管理に努めている。	B	
	事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	B	
緊急時に相互連絡をとれる体制が整っている。	A		
衛生	園児の健康診断を実施している。	A	保育の中で手洗いうがい・消毒を指導し、行政からの注意喚起は速やかに保護者に伝え、予防に努めました。今のところ多数の欠席者は出ていません。
	教職員の健康診断を実施している。	A	
	伝染病予防(出席停止、臨時休業等)に適切に対応している。	A	

#### IV. その他

内 容	評価	所見
実習生を受け入れるにあたって、受け入れの意義や方針を全職員が理解し、実習担当者も決めている。	A	
施設給付型幼稚園の役割を果たすために必要な地域の関係機関などの情報を収集し、それを職員が共有している。	A	

#### V. 昨年度からの懸案事項・改善すべき箇所

内 容	評価	所見
指導計画の定期的な見直しをしていく。	C	前述の通り、実行します。
野菜や花の手入れを丁寧に取り組む。	A	昨年度発足した保護者の園芸ボランティアの方々の作業に助けられ、年間通して土づくりから食育に使える野菜の栽培などを行うことができました。
テーマを決めて継続的に学び合う研修を行う。	C	前述の通り、実行します。
遊具の点検を定期的に行う。	A	引き続き実行いたします。
教職員の健康診断の確実な実施	A	
教会と共有のセキュリティーを理事会で引き続き検討する。	B	現場も迷うところです。理事会でも検討中です。
対外的な情報収集・地域に開かれた園の在り方を具体的に模索する。	B	花の日礼拝や収穫感謝礼拝の際、保育の一環として地域の機関に花や果物を届けて日頃の感謝や慰問の気持ちを伝えています。この他にも具体的にどのような機関との連携が可能か考えます。各市役所・キリスト教保育連盟の他園とは定期的に情報交換ができています。